

● 「船員育成船舶」の概要

居住区域を拡大することにより500G/Tを超過する内航貨物船について

～内航未来創造プランに基づく緩和措置～

神戸運輸監理部海事振興部貨物・港運課

499G/T型内航貨物船では、船員の確保・育成のために新たに船員室を設けることは500G/Tを超過することによる

① 乗組基準の厳格化

② 設備規則の厳格化

などの規制強化を伴うため、船員室の増室に踏み切れない状況にある。

緩和措置



船員の確保・育成のために居住区域を拡大した結果500G/T以上510G/T未満となった船舶について

① 乗組基準について

(甲板部)通常の乗組基準

職名 トン数	船長	一航士
～499	5級	6級
500～	4級	5級

↓「船員育成船舶」として確認を受けた場合↓

職名 トン数	船長	一航士
500～ 509	5級	6級

499G/T型と同一の乗組基準が適用

※ 船舶職員法第20条に基づく特例許可による

② 設備規則について

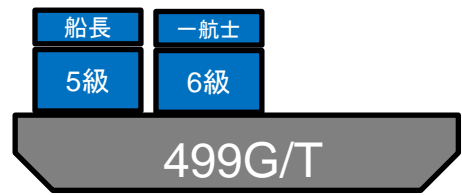
「船員育成船舶」として確認を受けた場合
一部設備の免除が可能

(例)一般貨物船の場合

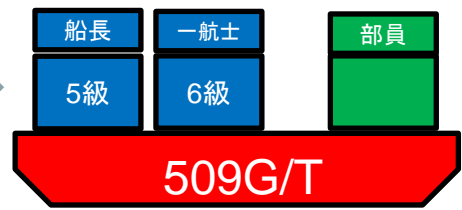
- ・ 固定式鎮火性ガス消火装置
- ・ 固定式高膨張泡消火装置
- ・ 固定式加圧水噴霧装置

機関室の消防設備が免除となる

※ AISなど条約上必要な設備は免除不可



↓部員のために船員室を増室↓



船員の確保・育成のために船員室を設けることにより500G/Tを超過したことが認められる船舶「船員育成船舶」として確認を受けた船舶は510G/T未満の範囲で499G/T型と同等の基準が適用される。

● 「船員育成船舶」の概要

居住区域を拡大することにより500G/Tを超過する内航貨物船について

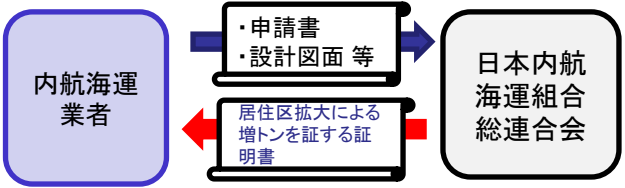
～内航未来創造プランに基づく緩和措置～

神戸運輸監理部海事振興部貨物・港運課

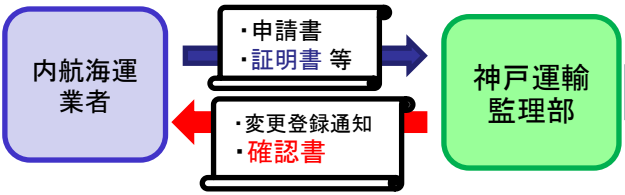
内航海運業法に基づく変更登録

(貨物・港運課)

① 内航総連による審査 ※ 所属する海運組合を經由



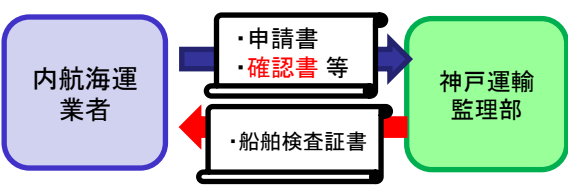
② 地方運輸局等への変更登録



船舶検査

(船舶安全環境課)

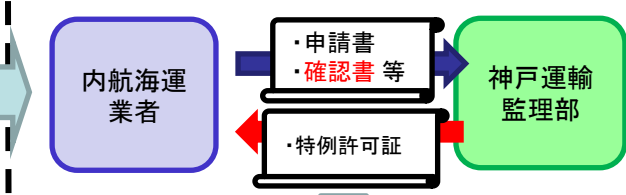
③ 地方運輸局等における船舶検査



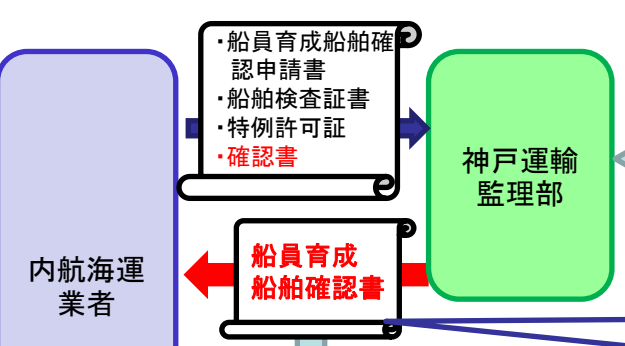
20条特例許可

(船員労働環境・海技資格課)

④ 地方運輸局等への20条特例許可手続き



⑤ 船員育成船舶確認書の交付



総トン数500トン以上
510トン未満となったことを確認

港湾運送事業法・港則法関係

港湾運送

(港湾運送事業者)

沿岸荷役事業の範囲に限定した港湾荷役事業者が、引き続き貨物の積卸しを扱える

入出港・停泊等

(海上保安庁)

びょう泊や水路の航行等の交通ルールについて、総トン数500トン未満の船舶と同様の基準を適用

内航船舶の表示
(地の色彩が黄色)

神内2345A345678